

令和2年10月

魚津市定例記者会見



日時：令和2年10月1日(木) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、KNB、BBT、NICE-TV

市当局出席者：市長、企画政策課長

1. 市長からの発表事項

(1) 産後ヘルパー派遣事業を開始します

- ・産後2カ月以内のお母さんの出産直後の家事・育児の負担を軽減するため、ヘルパー派遣を利用できるよう支援する。対象者は魚津市に住所を有する産後2カ月以内の親。支援内容は在宅時の家事援助・育児援助。回数は1日1回（2時間以内）、計5回まで。利用料金は1回、1,500円。サービス提供事業者は魚津市が委託している家事代行サービス事業者（3者）。サービス利用を希望される方は、事前に利用申込が必要で、出産予定日の1カ月前から申し込みが可能。サービス事業者の調整を行っていたため10月からのスタートとなった。

(2) 「アウトドア・キャンプイベント」開催します。

～魚津総合公園賑わい創出に向けたパートナーシップ構築事業～

- ・「魚津市と魚津総合公園賑わい創出に向けたパートナーシップ協定を結んだNP×AHA&Partners「通称：NAPs」が魚津総合公園（愛称「みらパーク」）でアウトドア・キャンプイベントを開催する。開催日は10月17日（土）から翌10月18日（日）まで。参加者として10組の親子を募集する。内容は全国一斉凧揚げイベント「大空高くみんなの願いを！2020」、魚津の食材でBBQ、音楽と焚火のひととき、テント泊、朝ヨガ、乗馬体験、魚津の朝ごはん体験等を行う。凧あげイベントは新型コロナウイルス終息を願う全国一斉のイベントとなっている。開催地は全国19か所。当日は魚津市在住のデザイナーを招いて凧作り・凧あげのワークショップを行う。

(3) 電柱を活用した公共表示ラッピングの設置について

～東山田筒分水槽の案内誘導表示の設置～

- ・観光PRの一環として、北陸電力株式会社新川支店、北陸電力送配電株式会社富山支社の協力を得て、同社が所管する市内の電柱に公共表示ラッピングシートを使って「東山田筒分水槽」への案内誘導表示を設置する。設置予定箇所は3か所。天神橋の両側の東尾崎地内と立石地内に1本ずつ。あと青柳地内の交差点に1本設置される。そのうち東尾崎地内は設置済。残りの立石地内及び青柳地内は、10月中旬に設置予定。

この事業は、北陸電力送配電（株）が同社管内（富山、石川、福井）において、電柱を使用した広告事業の試験実証として行うもので、福井県鯖江市と当市の2カ所に設置するもの。

(4) 「さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとかい」をサンプラザで開所します

- ・新型コロナウイルス感染症のため2度の開講延期をしていた介護予防通所型予防事業「さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとかい」を10月より開講する。65歳以上の高齢者を対象とした「健康づくり、生きがいづくり」を目的とした介護予防教室を行う。開所式は10月7日（水）13:30からサンプラザ4階の大ホールで行う。事業内容は、健康維持・増進事業として貯筋体操や高齢者向けヨガなど各種体操を行い、社会参加促進事業として貼り絵、脳トレ、健康麻雀など趣味・レクリエーション教室、サンプラザ商店会を講師とした各種教室などを行う。また、その他高齢者総合相談事業も行う。開催日時は日曜日・火曜日・水曜日の10:30～14:40まで。高齢者の買い物利用の拠点となっている魚津サンプラザで民間の事業者と協力しながら高齢者の介護予防の取り組みを行っていききたい。

2. 質疑応答の内容

「さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとかい」について

《記者からの質問》

これまで実施してきた介護予防教室との違いはあるか。また、期待することは。

《回答》（市長）

以前は百楽荘で高齢者の健康教室や介護予防教室を行っていたが、施設の廃止以降は、場所がなくなって困っているという市民ニーズがあった。サンプラザは高齢者の来客が多いことやすべての市民バスが停車する場所であることから代替りの場所として選ばれた。

「電柱を活用した公共表示ラッピングの設置」について

《記者からの質問》

魚津市が選ばれた理由は何か。今後増やす予定はあるのか。

《回答》（市長）

北陸電力に確認したわけではないが、同社は片貝水系で水力発電を行ってきた歴史がある。そのうえで（片貝水系の水が流れる）東山円筒分水槽が登録文化財になったことで選んだのではないか。今後については、無料で設置してもらえるのは今回の3本だけなので、効果的なPRツールとして考えられれば追加の利用を考えたい。

「産後ヘルパー派遣事業」について

《記者からの質問》

県内他市町村で先行事例はあるのか。

《回答》（市長）

産後うつの方など困難な状況の方へのサービスは以前からあったが、すべての方が対象となる家事サービスは初めて。魚津市、小矢部市、射水市、上市町、舟橋村の3市1町1村が今回の県のモデル事業に参画すると聞いている。

「魚旅キャンペーン」について

《記者からの質問》

当初は11月30日までとなっていたが、12月31日までになった理由は。

《回答》（市長）

最初に事業を予算措置した7月補正予算では、新型コロナウイルス感染症の影響を考えて対象を県内のみとしてスタートした。今回の9月議会に提案した補正予算において対象範囲を近隣の県と福井県に拡大し、同時に利用期間も1カ月延長して12月末までとした。

「NAPsとの契約」について

《記者からの質問》

魚津市と魚津市施設管理公社とNAPsとのパートナーシップ協定の契約が11月で切れるが、今後の関係はどうなるのか。

《回答》（市長）

当初の契約は今年の9月末までだったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりミラージュランドが営業している11月末まで契約を延長した。本来は屋外イベントをNAPsと連動して開催し、その増収分を分配する（プロフィットシェアする）取り

組みだった。しかし、コロナで前提条件が崩れ、効果があったのか実証できなかったため、来年度も続けることで効果測定をしたいと考えている。